

月報 2025年4月30日 NO410

4月号



四方通信

石城山岳会事務局編集

月例山行 大子アルプス

4月個人山行 「男鹿岳」

2025年度4月登山教室「古賀志山」

月例山行 大子アルプス

期日 2025年4月6日(日)

参加者氏名 西(重)、佐藤(春)、須藤、根本、赤塚(園)、赤塚(将)
国井、松崎、小谷野、秋葉、種市、中根、安部(13名)

4月の月例山行は、茨城県大子町大子アルプスにした。常陸国ロングトレイルの一部になっている。月待の滝からジャンダルムまでが鋸21峰と呼ばれ、厳しいアップダウンが続くコースだ。夏の高い山を登るためのトレーニングに丁度よいかと考えた。

開催日の天気予報は、芳しくなく、午後から雨の予報だった。参加者のキャンセルが続くが気にせず実施することにした。

宮川コミュニティセンター駐車場からのスタートここから袋田の滝第2駐車場までの縦走予定。(袋田の滝第2駐車場に車を1台おいて宮川CSまで戻ってくる。)登山口の月待の滝からのぼり始める。いきなり急登、登る距離は短いが、ここから先、同じ



ようなアップダウンが続く。向かって右側に大子の町が見えるが、同じような景色が続く。三角点赤坂まで2時間30分、激しいアップダウンでとても長く感じた。さすがに鋸21峰と呼ばれるだけのことはある。結構、足に来て疲れる。幸い脚攣りする人はいなかった。

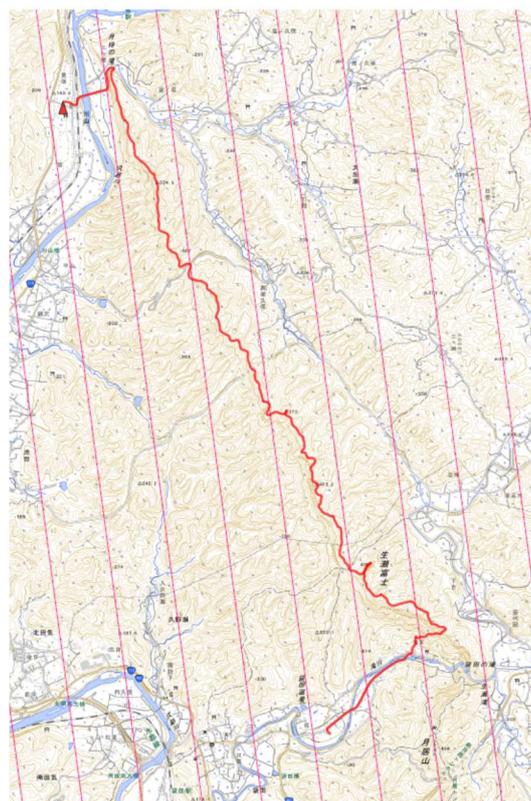
やっと茨城のジャンダルムだ。北アルプスのジャンダルムになぞられた天使があったが、誰が持っていったのか今はない。

ここから先は、楽しい川を渡渉する予定であっ

たが、午後からの天候を見て、この次に来た時にわたることとした。袋田の滝を上から眺めてエスケープルートで袋田の滝第2駐車場へ戻ることにした。結果的に少しの雨に当たったが、それほど酷い雨には当たらなかった。参加した皆さんありがとうございました。

【コースタイム】

6:55 宮川CS^P→7:03 月待の滝→7:44 三角点釜田
→10:22 三角点赤坂→11:29 生瀬富士→11:38 茨城のジャンダルム→11:51 生瀬富士→12:07 立神山→13:26 袋田滝本町営第1^P→13:29 袋田滝本町第2^P



(文責：国井)

4月個人山行 「男鹿岳」

2025年4月12日(土) 秋葉、国井、松本

残雪期を狙って那須塩原市にある男鹿岳へ登ってきました。

男鹿岳は栃木百名山、日本三百名山に選ばれている山です。栃木県側では「おじかだけ」福島県側では「おがだけ」と呼ばれています。登山道はあるのですが無雪期はほぼ藪漕ぎとなります。

今年は雪が多く例年入れる滝沢橋まで車で乗り入れできないとの事でしたが、直前で迂回コースの情報をいただき一番近い滝沢橋からスタートする事ができました。



栃木県の山の中でもロングコースで有名な男鹿岳、歩ききれぬか一抹の不安を抱きながら林道を進みます。釜沢橋まではほぼ雪もなく、1時間ほどでゲートに着きました。ここからはアイゼンを着けるほどではないですが雪が多く残っていました。

ゲートから1時間ほど進むと崩落箇所が出てきます。雪がついているので滑りやすく歩きづらいですが十分気をつけて進めば大丈夫でした。その先にあるオーガ沢橋は崩れていたため渡渉して進みます。

ひたすら林道歩きで心が折れそうになった頃に男鹿岳の取り付きに到着！

親切にピンクテープが付いていたので助かりました。

林道を3時間歩いてここからやっと登山開始です。取り付きから約2kmで600mほど登るのでかなりの急登となります。でも登り始めると林道歩きで変化のなかった景色から一変。振り返ると雪を纏った七ヶ岳が目に見え嬉しくなりました。雪もしっかりと残っていて藪漕ぎをする箇所もなく2時間20分ほどで登頂。開けた山頂からは那須連山が端から端まで見渡せました。いつもは東側から眺める那須の山々を西側から見るのができたのはとても新鮮でした。



予定していた時間よりも早く登頂できたので隣にある女鹿岳にも足を伸ばしました。10分ほどで女

鹿岳(めがだけ)に到着。女鹿岳からは南に日留賀岳に続く稜線、東に大佐飛山を眺めることができました。女鹿岳には可愛いバンビの絵の山名板があると聞いていたのですが積雪が多くまだ雪の中で見つけられなかったのが残念でした。



この後男鹿岳に戻りゆっくりと昼食をとってから下山開始。長い林道に戻り16時に車に戻ることができました。往復16kmの林道歩きは辛いですが、山頂から見えた景色を思えば登って良かった！と思える山でした。



【コースタイム】

滝沢橋 5:20 → ゲート 6:27 → 男鹿岳取り付き 8:25 → 男鹿岳 10:45~11:19 →
女鹿岳 11:28~11:42 → 男鹿岳 11:53~12:04 → 男鹿岳取り付き 13:20 → ゲ
ート 15:01 → 滝沢橋 16:03

[距離・標高差] 22.6km 登り 1446m 下り 1450m

[休憩時間] 1時間 53分

[行動時間] 10時間 43分

(文責：松本)

2025年度4月登山教室「古賀志山」

2025年4月20日

参加者：教室生7名 山岳会10名

【コースタイム】

宇都宮森林公園Pスタート（8：30）→富士見峠（9：35）→古賀志山（10：00）→御嶽山（10：30）休憩→坊主山（11：45）→宇都宮森林公園P（13：30）

6:00に水石トンネルを出発。道中の高速道路脇には食べごろのタラの芽がニョキニョキと顔を出していた。どうにか取る方法はないか、ワラビも採れそうな山だ。など話しながら、宇都宮森林公園Pに早めの到着。自車で参加となった鈴木さんも無事に合流し、定刻通りに山行開始。天気は曇天。雨が降り出しそうな雲行きだ。

登山道にはかわいいアカヤシオや山吹、タチツボスミレ、ツツジなど様々な花が咲いていた。草花の名前や見分け方など、根本さん、秋葉さんに丁寧に教えてもらう。が、その傍から忘れてしまうのだけど（ごめんなさい）少しずつ蓄積はされていると思う。

適所にある休憩所はベンチも設置されており、とても整備されている山だ。ちょっとした鎖場や梯子、3年後にはコシアブラが採れそうなポイント、赤川ダム湖では魚がライズしていたりと、標高583mの低山といえど見所があり面白い。コースは様々で分岐も多く正しいルート読みが難しい。実際に見晴台を通り過ぎている。チェックポイントやルート、地形のイメージが不足していた。（猛省）

古賀志山山頂で小休憩し御嶽山山頂で早めの昼食となった。比佐さんの差し入れのワラビの醤油漬けの塩分が染み渡る。壊れた自撮り棒見つけ、それをスタンドにみんな揃っての記念撮影。予定より早いコースタイムのため、道の駅に寄ってからいわきへの帰路についた。

今回、私は夏の飯豊山縦走へ向けてのトレーニングの為、水を重りにトータル12キロを担いでの山行となった。昨年の4月は5キロのザックを担ぐのがやっとだった事を考えると、随分と体力がついたのだなー。と実感する。登山のトレーニングは登山で！を続けていこうと思う。



P.S.いわきに帰ってきてから、遊び足りない数人と蕨採りにも行ってきました。

（文責：吉田）